

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査]

1 大 学

(1) 学 校 数 (表1)

学校数は773校(国立86校, 公立92校, 私立595校。通信教育のみを行う学校(私立6校)を除く。)で, 前年度より8校増加している。

表1 大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成11	622	99	66	457	73.5
16	709	87	80	542	76.4
17	726	87	86	553	76.2
18	744	87	89	568	76.3
19	756	87	89	580	76.7
20	765	86	90	589	77.0
21	773	86	92	595	77.0

(2) 学 生 数 (表2)

学生数は, 284万6千人(男子168万8千人, 女子115万8千人), 前年度より1万人増加している。

また, 学生数のうち学部学生は252万7千人, 大学院学生は26万4千人〔修士課程{修士課程及び博士前期課程(医・歯学及び獣医学を除く一貫制博士課程を含む。)以下同じ。}16万7千人, 博士課程{博士後期課程(医・歯学及び獣医学の博士課程を含む。)以下同じ。}7万4千人, 専門職学位課程*2万3千人], 専攻科・別科等の学生は5万5千人となっている。

*平成15年4月創設の高度専門職業人の養成を目的とする専門職大学院の課程

① 学生数を設置者別にみると, 国立62万2千人(学生数の21.8%), 公立13万7千人(同4.8%), 私立208万7千人(同73.3%)となっている。

②女子学生の占める割合は40.7%で, 前年度より0.5ポイント上昇している。

表2 学生数(大学)

区 分	計	うち学部	うち大学 院(a)	うち社会人	うち女子	社会人	女子の占	国 立	公 立	私 立
						(a)	める比率			
	人	人	人	人	人	%	%	人	人	人
平成11	2,701,104	2,448,804	191,125	...	959,490	...	35.5	621,126	101,062	1,978,916
16	2,809,295	2,505,923	244,024	40,988	1,100,839	16.8	39.2	624,389	122,864	2,062,042
17	2,865,051	2,508,088	254,480	45,194	1,124,900	17.8	39.3	627,850	124,910	2,112,291
18	2,859,212	2,504,885	261,049	48,609	1,127,474	18.6	39.4	628,947	127,872	2,102,393
19	2,828,708	2,514,228	262,113	51,142	1,126,751	19.5	39.8	627,402	129,592	2,071,714
20	2,836,127	2,520,593	262,686	53,667	1,140,755	20.4	40.2	623,811	131,970	2,080,346
21	2,845,908	2,527,319	263,989	54,642	1,158,390	20.7	40.7	621,800	136,913	2,087,195

(3) 関係学科別学部学生の構成 (表3, 図1)

学部学生の関係学科別構成比をみると、「社会科学」が35.3%で最も高く、次いで「工学」(16.0%),「人文科学」(15.4%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「家政」、「教育」の比率は年々上昇してきているが、「社会科学」、「工学」、「人文科学」の比率が低下している。

(4) 専攻分野別大学院学生の構成

(表3, 図1, 図2)

大学院修士課程の専攻分野別構成比をみると、「工学」が39.8%で最も高く、次いで「社会科学」(11.2%),「理学」(8.2%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「医・歯学」の比率は年々上昇してきているが、「社会科学」の比率は低下してきている。

大学院博士課程の専攻分野別構成比をみると、「医・歯学」が26.8%で最も高く、次いで「工学」(18.4%),「人文科学」(9.9%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「教育」の比率は年々上昇してきているが、「社会科学」、「理学」、「農学」の比率が低下している。

大学院専門職学位課程の専攻分野別構成比をみると、「社会科学」が86.9%で最も高く、次いで「教育」(5.9%)の順となっている。

また、大学院学生のうち、「社会人」(平成21年5月1日において職に就いている者。ただし、企業等を退職した者及び主婦等を含む。)は修士課程では2万人(男子1万人,女子1万人)で、学生数に占める割合は12.2%,博士課程では2万5千人(男子1万7千人,女子8千人)で、学生数に占める割合は33.8%,専門職学位課程では9千人(男子7千人,女子2千人)で、学生数に占める割合は40.3%となっている。これを各専攻分野ごとに「社会人」の占める割合をみると、修士課程では「社会科学」が36.5%で最も高く、次いで「教育」(28.4%)となっており、博士課程では「医・歯学」が47.2%で最も高く、次いで「工学」(33.2%)となっており、専門職学位課程では「医・歯学」が(61.2%)で最も高く、次いで「工学」(57.0%)となっている。

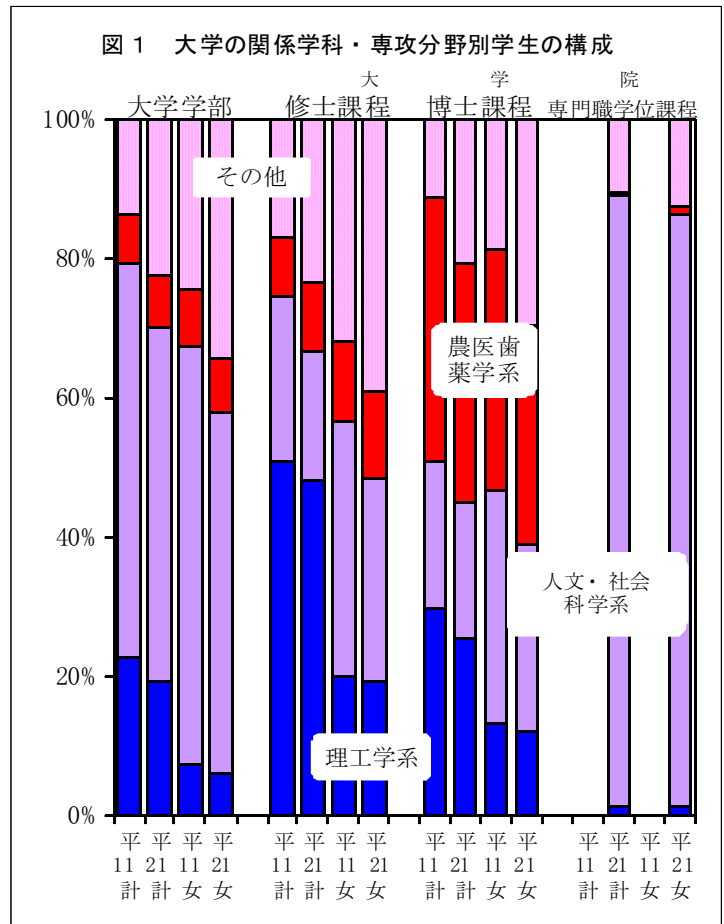


表3 関係学科・専攻分野別学生数の比率の推移 (大学・大学院)

(1) 学部学生

区分	関係学科別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成11	100.0	16.7	39.9	3.6	19.2	2.9	2.6	1.5	1.8	5.7	6.0
16	100.0	16.3	38.4	3.5	17.5	2.8	2.5	1.7	2.3	5.6	9.5
17	100.0	16.2	37.7	3.5	17.3	2.8	2.5	1.8	2.4	5.7	10.1
18	100.0	16.0	37.0	3.4	17.0	2.9	2.5	2.0	2.5	5.8	11.0
19	100.0	15.8	36.3	3.4	16.7	2.9	2.5	2.1	2.6	5.9	11.8
20	100.0	15.6	35.8	3.3	16.3	3.0	2.5	2.2	2.6	6.1	12.7
21	100.0	15.4	35.3	3.2	16.0	3.0	2.5	2.1	2.6	6.3	13.6

(2) 大学院修士課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成11	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	100.0	8.8	14.6	9.5	41.5	5.6	0.3	2.7	…	7.9	9.2
16	100.0	8.1	13.2	8.6	40.1	5.1	0.8	3.1	…	7.0	13.9
17	100.0	8.2	12.5	8.5	39.9	5.1	0.9	3.2	…	7.0	14.7
18	100.0	8.1	12.1	8.5	39.4	5.2	1.0	3.1	…	7.2	15.5
19	100.0	7.8	11.6	8.4	39.4	5.5	1.0	3.1	…	7.3	16.0
20	100.0	7.8	11.3	8.3	39.5	5.5	1.1	3.2	…	6.9	16.4
21	100.0	7.5	11.2	8.2	39.8	5.5	1.1	3.3	…	6.5	16.9

(3) 大学院博士課程

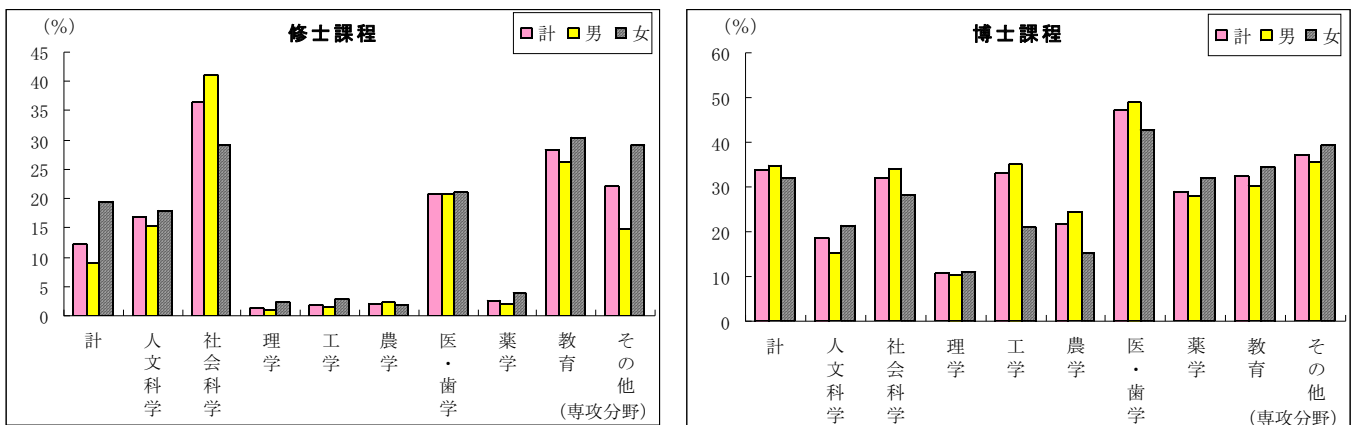
区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成11	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	100.0	10.9	9.8	10.7	19.3	6.8	29.7	1.6	…	2.5	8.7
16	100.0	10.3	10.2	8.6	18.5	5.9	27.4	1.7	…	2.5	14.9
17	100.0	10.2	10.1	8.6	18.6	5.8	26.9	1.8	…	2.5	15.6
18	100.0	10.2	10.0	8.3	18.5	5.8	26.4	1.8	…	2.5	16.3
19	100.0	10.3	10.0	7.7	18.6	5.7	26.3	1.9	…	2.6	16.9
20	100.0	10.1	9.9	7.2	18.5	5.5	26.7	1.8	…	2.7	17.6
21	100.0	9.9	9.7	7.0	18.4	5.4	26.8	1.8	…	2.9	18.1

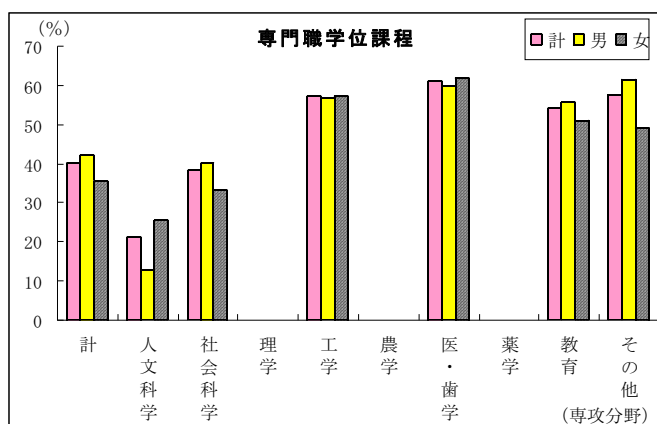
(4) 大学院専門職学位課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成11	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
16	100.0	—	95.5	—	—	—	0.6	—	…	—	3.9
17	100.0	0.2	95.5	—	0.2	—	0.4	—	…	—	3.6
18	100.0	0.3	94.8	—	0.5	—	0.3	—	…	0.2	3.9
19	100.0	0.5	93.9	—	0.8	—	0.5	—	…	0.3	4.1
20	100.0	0.7	90.7	—	1.0	—	0.6	—	…	3.1	3.9
21	100.0	0.9	86.9	—	1.3	—	0.5	—	…	5.9	4.5

(注) 大学院修士課程・博士課程・専門職学位課程の「家政」については、「その他」に含まれている。

図2 専攻分野別社会人大学院学生の構成比





(5) 入学状況 (表4, 表5)

ア. 大学 (学部) への入学状況

大学学部への入学者数は、60万9千人 (国立10万2千人, 公立2万8千人, 私立47万8千人) で、前年度より1千6百人増加している。

- ① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した大学の所在地県」との関係を見ると、大学 (学部) の入学者のうち、「自県 (出身高等学校と同一県) 内の大学へ入学した者の比率」は41.5% (前年度より0.3ポイント上昇) となっている。
- ② これを男女別にみると、男子は39.8% (前年度より0.2ポイント上昇), 女子は43.7% (前年度より0.4ポイント上昇) となっている。

イ. 大学院への入学状況

大学院への入学者数は、修士課程では7万8千人 (男子5万5千人, 女子2万3千人) で前年度より7百人増加しており、博士課程では1万6千人 (男子1万1千人, 女子5千人) で前年度より4百人減少しており、専門職学位課程では9千人 (男子7千人, 女子2千人) で前年度より2百人減少している。

修士課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が3万7千人 (47.3%) で最も高く、次いで「23歳」1万9千人 (24.3%), 「24歳」6千人 (8.0%) 等の順となっている。

また、修士課程の入学者のうち、「社会人」は8千人 (10.5%), 「留学生」は7千人 (9.3%) である。

博士課程の入学者数を年齢別に見ると、「30～34歳」が3千1百人 (19.5%) で最も高く、次いで「24歳」2千4百人 (15.0%), 「25歳」2千4百人 (14.9%) 等の順となっている。

また、博士課程の入学者のうち、「社会人」は5千3百人 (33.4%), 「留学生」は2千6百人 (16.2%) である。

専門職学位課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が2千人 (22.0%) で最も高く、次いで「23歳」1千6百人 (17.2%), 「30～34歳」1千2百人 (12.7%) 等の順となっている。

また、専門職学位課程の入学者のうち、「社会人」は3千8百人 (41.0%), 「留学生」は3百人 (2.7%) である。

専門職学位課程のうち法科大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が1千3百人 (25.9%) で最も高く、次いで「23歳」1千1百人 (21.9%), 「24歳」5百人 (10.9%) 等の順となっている。

また、教職大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が2百人 (28.1%) で最も高く、次いで「40～44歳」2百人 (20.3%), 「35～39歳」1百人 (16.5%) 等の順となっており、入学者のうち「社会人」が53.9%を占めている。

表4 入学状況（大学，大学院）

区分	学部入学状況								大学院入学者数							
	入学者数				自県内入学率				修士課程		博士課程		専門職学位課程			
	計	国立	公立	私立	計	男	女	計	うち社会人	計	うち社会人	計	うち社会人	法科大学院	教職大学院	
平成11	人	人	人	人	%	%	%	人	人	人	人	人	人	人	人	
	589,559	105,240	22,629	461,690	37.8	36.4	40.2	65,382	…	16,276	…	…	…	…	…	
16	598,331	103,552	25,074	469,705	39.7	38.5	41.6	76,749	8,122	17,944	4,392	7,231	3,630	5,766	…	
17	603,760	104,130	26,050	473,580	40.1	38.6	42.2	77,557	7,957	17,553	4,709	5,969	3,044	3,516	…	
18	603,054	104,027	26,935	472,092	40.8	39.3	42.9	77,851	8,161	17,131	5,257	8,899	3,542	5,776	…	
19	613,613	102,455	26,967	484,191	41.0	39.4	43.2	77,451	8,470	16,926	5,417	9,059	3,328	5,709	…	
20	607,159	102,345	27,461	477,353	41.2	39.6	43.3	77,396	8,249	16,271	5,552	9,468	3,794	5,393	641	
21	608,731	101,847	28,414	478,470	41.5	39.8	43.7	78,119	8,192	15,901	5,314	9,247	3,794	4,843	747	

表5 大学院の年齢別入学状況

(1) 修士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	78,119 (100.0)	346 (0.4)	36,978 (47.3)	18,999 (24.3)	6,232 (8.0)	2,889 (3.7)	1,860 (2.4)	1,351 (1.7)	939 (1.2)	804 (1.0)	2,685 (3.4)	1,635 (2.1)	1,194 (1.5)	860 (1.1)	574 (0.7)	489 (0.6)	284 (0.4)	8,192 (10.5)	7,294 (9.3)
男	55,407 (100.0)	207 (0.4)	28,160 (50.8)	14,271 (25.8)	4,339 (7.8)	1,743 (3.1)	1,047 (1.9)	771 (1.4)	505 (0.9)	463 (0.8)	1,500 (2.7)	869 (1.6)	521 (0.9)	369 (0.7)	220 (0.4)	241 (0.4)	181 (0.3)	4,233 (7.6)	3,351 (6.0)
女	22,712 (100.0)	139 (0.6)	8,818 (38.8)	4,728 (20.8)	1,893 (8.3)	1,146 (5.0)	813 (3.6)	580 (2.6)	434 (1.9)	341 (1.5)	1,185 (5.2)	766 (3.4)	673 (3.0)	491 (2.2)	354 (1.6)	248 (1.1)	103 (0.5)	3,959 (17.4)	3,943 (17.4)

(2) 博士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	15,901 (100.0)	— (—)	8 (0.1)	96 (0.6)	2,384 (15.0)	2,375 (14.9)	1,577 (9.9)	1,179 (7.4)	984 (6.2)	947 (6.0)	3,098 (19.5)	1,252 (7.9)	775 (4.9)	582 (3.7)	315 (2.0)	204 (1.3)	125 (0.8)	5,314 (33.4)	2,581 (16.2)
男	10,801 (100.0)	— (—)	5 (0.0)	69 (0.6)	1,765 (16.3)	1,697 (15.7)	1,028 (9.5)	773 (7.2)	645 (6.0)	668 (6.2)	2,093 (19.4)	808 (7.5)	486 (4.5)	354 (3.3)	191 (1.8)	133 (1.2)	86 (0.8)	3,617 (33.5)	1,445 (13.4)
女	5,100 (100.0)	— (—)	3 (0.1)	27 (0.5)	619 (12.1)	678 (13.3)	549 (10.8)	406 (8.0)	339 (6.6)	279 (5.5)	1,005 (19.7)	444 (8.7)	289 (5.7)	228 (4.5)	124 (2.4)	71 (1.4)	39 (0.8)	1,697 (33.3)	1,136 (22.3)

(3) 専門職学位課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	9,247 (100.0)	108 (1.2)	2,034 (22.0)	1,587 (17.2)	759 (8.2)	445 (4.8)	331 (3.6)	255 (2.8)	273 (3.0)	262 (2.8)	1,175 (12.7)	908 (9.8)	572 (6.2)	278 (3.0)	120 (1.3)	96 (1.0)	44 (0.5)	3,794 (41.0)	252 (2.7)
男	6,768 (100.0)	58 (0.9)	1,343 (19.8)	1,176 (17.4)	568 (8.4)	319 (4.7)	261 (3.9)	191 (2.8)	200 (3.0)	207 (3.1)	893 (13.2)	724 (10.7)	419 (6.2)	201 (3.0)	81 (1.2)	84 (1.2)	43 (0.6)	2,868 (42.4)	109 (1.6)
女	2,479 (100.0)	50 (2.0)	691 (27.9)	411 (16.6)	191 (7.7)	126 (5.1)	70 (2.8)	64 (2.6)	73 (2.9)	55 (2.2)	282 (11.4)	184 (7.4)	153 (6.2)	77 (3.1)	39 (1.6)	12 (0.5)	1 (0.0)	926 (37.4)	143 (5.8)

(再掲) 法科大学院

計	4,843 (100.0)	58 (1.2)	1,253 (25.9)	1,061 (21.9)	528 (10.9)	272 (5.6)	192 (4.0)	146 (3.0)	151 (3.1)	146 (3.0)	472 (9.7)	287 (5.9)	126 (2.6)	69 (1.4)	31 (0.6)	37 (0.8)	14 (0.3)	1,273 (26.3)	8 (0.2)
男	3,581 (100.0)	27 (0.8)	822 (23.0)	808 (22.6)	405 (11.3)	216 (6.0)	161 (4.5)	114 (3.2)	108 (3.0)	115 (3.2)	363 (10.1)	224 (6.3)	98 (2.7)	47 (1.3)	24 (0.7)	35 (1.0)	14 (0.4)	955 (26.7)	4 (0.1)
女	1,262 (100.0)	31 (2.5)	431 (34.2)	253 (20.0)	123 (9.7)	56 (4.4)	31 (2.5)	32 (2.5)	43 (3.4)	31 (2.5)	109 (8.6)	63 (5.0)	28 (2.2)	22 (1.7)	7 (0.6)	2 (0.2)	— (—)	318 (25.2)	4 (0.3)

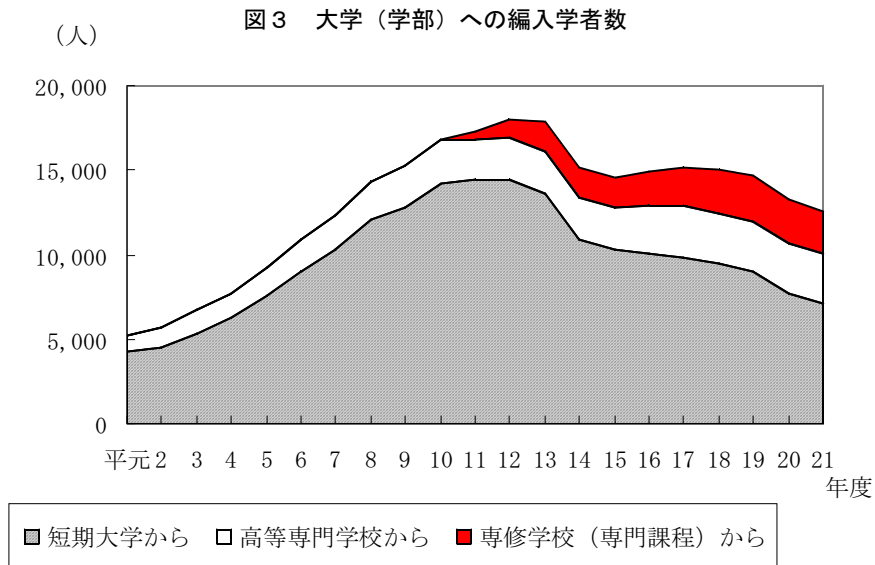
(再掲) 教職大学院

計	747 (100.0)	— (—)	210 (28.1)	83 (11.1)	24 (3.2)	11 (1.5)	8 (1.1)	7 (0.9)	2 (0.3)	4 (0.5)	39 (5.2)	123 (16.5)	152 (20.3)	65 (8.7)	14 (1.9)	5 (0.7)	— (—)	403 (53.9)	— (—)
男	475 (100.0)	— (—)	123 (25.9)	59 (12.4)	14 (2.9)	6 (1.3)	5 (1.1)	5 (1.1)	2 (0.4)	2 (0.4)	21 (4.4)	94 (19.8)	89 (18.7)	46 (9.7)	6 (1.3)	3 (0.6)	— (—)	260 (54.7)	— (—)
女	272 (100.0)	— (—)	87 (32.0)	24 (8.8)	10 (3.7)	5 (1.8)	3 (1.1)	2 (0.7)	— (—)	2 (0.7)	18 (6.6)	29 (10.7)	63 (23.2)	19 (7.0)	8 (2.9)	2 (0.7)	— (—)	143 (52.6)	— (—)

(注) 1. 平成21年5月1日現在の年齢である。
2. (3) 専門職学位課程の入学者数には法科大学院の既修コースへの入学者を含む。

(6) 大学への編入学者数 (図3)

大学(学部)への編入学者数は、短期大学からの編入学者が7千1百人(男子2千1百人, 女子5千人), 高等専門学校からは3千人(男子2千5百人, 女子5百人), 専修学校(専門課程)からは2千5百人(男子1千2百人, 女子1千3百人)で前年度より7百人減少している。



(7) 教員数 (表6)

教員数は、本務者が17万2千人(国立6万1千人, 公立1万2千人, 私立9万8千人)で、前年度より2千人増加している。また、兼務者は18万人(国立3万7千人, 公立1万4千人, 私立13万人)で、前年度より6千人増加している。

表6 本務教員数 (大学)

区分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女	人				
平成11	147,579	128,545	19,034	60,205	10,026	77,348	12.9
16	158,770	133,397	25,373	60,897	11,188	86,685	16.0
17	161,690	134,740	26,950	60,937	11,426	89,327	16.7
18	164,473	135,876	28,597	60,712	11,743	92,018	17.4
19	167,636	137,113	30,523	60,991	11,786	94,859	18.2
20	169,914	137,862	32,052	61,019	12,073	96,822	18.9
21	172,039	138,509	33,530	61,246	12,402	98,391	19.5

2 短期大学

(1) 学校数 (表7)

学校数は、406校（国立2校、公立26校、私立378校。通信教育のみを行う学校（私立1校）を除く。）で、前年度より11校減少している。

表7 短期大学の設置者別学校数

区分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成11	585	23	59	503	86.0
16	508	12	45	451	88.8
17	488	10	42	436	89.3
18	468	8	40	420	89.7
19	434	2	34	398	91.7
20	417	2	29	386	92.6
21	406	2	26	378	93.1

(2) 学生数 (表8)

学生数は、16万1千人（男子1万7千人、女子14万3千人）で、前年度より1万2千人減少している。また、学生数のうち本科学生は15万5千人、専攻科・別科等の学生は6千人となっている。

- ① 学生数を設置者別にみると、国立3人（学生数の0.0%）、公立1万人（同6.2%）、私立15万1千人（同93.8%）となっている。
- ② 学生数のうち女子学生の占める比率は89.1%で、前年度より0.2ポイント上昇している。

表8 学生数 (短期大学)

区分	計	うち			女子の占める比率	国立	公立	私立
		うち本科	うち女子	女子の占める比率				
	人	人	人	%	人	人	人	
平成11	377,852	368,237	339,741	89.9	8,710	22,465	346,677	
16	233,754	225,995	204,463	87.5	2,975	16,510	214,269	
17	219,355	212,200	191,131	87.1	1,643	14,347	203,365	
18	202,254	195,233	177,162	87.6	597	11,909	189,748	
19	186,667	179,958	164,910	88.3	184	10,815	175,668	
20	172,726	166,448	153,518	88.9	52	10,565	162,109	
21	160,976	155,127	143,498	89.1	3	9,973	151,000	

(3) 関係学科別学生の構成 (表9)

本科学生の関係学科別構成比をみると、「教育」が29.6%で最も高く、次いで「家政」(20.5%)、「人文」(12.4%)、「社会」(11.9%)等の順となっている。さらに、その年次推移をみると、「人文」、「家政」の比率は年々低下してきている。

表9 関係学科別学生数の比率の推移（短期大学本科）

区 分	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成11	100.0	22.9	13.1	2.8	4.2	0.9	8.5	23.9	17.1	6.6
16	100.0	14.0	12.8	1.7	4.7	1.1	9.0	21.7	27.7	7.4
17	100.0	13.1	12.3	1.4	4.6	1.0	8.3	21.1	29.6	8.6
18	100.0	12.5	12.2	1.3	4.2	0.8	7.6	21.2	30.7	9.6
19	100.0	12.6	11.9	1.3	3.9	0.7	7.5	21.1	30.4	10.6
20	100.0	12.4	12.0	1.4	3.5	0.8	7.6	20.8	29.8	11.7
21	100.0	12.4	11.9	1.4	3.1	0.9	8.0	20.5	29.6	12.2

(4) 入学状況（表10）

本科への入学者数は7万3千人（公立4千人，私立6万9千人）で，前年度より4千人減少している。

- ① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した短期大学の所在地県」との関係を見ると，本科の入学者のうち，「自県（出身高校と同一県）内の短期大学へ入学した者の比率」は64.0％で，前年度より0.3ポイント上昇している。
- ② これを男女別にみると，男子は56.8％（前年度より1.6ポイント上昇），女子は64.8％（前年度より0.1ポイント上昇）となっている。

表10 入学状況（短期大学本科）

区 分	入 学 者 数				自 県 内 入 学 率		
	計	国 立	公 立	私 立	計	男	女
	人	人	人	人	%	%	%
平成11	168,973	2,483	9,078	157,412	58.0	50.3	58.8
16	106,204	309	6,606	99,289	61.1	52.4	62.3
17	99,431	300	5,451	93,680	61.9	52.6	63.2
18	90,740	—	4,708	86,032	63.1	55.6	64.1
19	84,596	—	4,724	79,872	63.3	54.5	64.4
20	77,339	—	4,697	72,642	63.7	55.2	64.7
21	73,163	—	4,185	68,978	64.0	56.8	64.8

(5) 教員数（表11）

教員数は，本務者が1万人（公立1千人，私立9千人）で，前年度より4百人減少している。また，兼務者は2万3千人（国立2百人，公立1千人，私立2万1千人）で，前年度より8百人減少している。

表11 本務教員数（短期大学）

区 分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女	人				
	人	人	人	人	人	人	%
平成11	18,206	10,426	7,780	790	2,036	15,380	42.7
16	12,740	6,842	5,898	240	1,418	11,082	46.3
17	11,960	6,392	5,568	244	1,209	10,507	46.6
18	11,278	5,915	5,363	74	1,031	10,173	47.6
19	11,022	5,682	5,340	—	941	10,081	48.4
20	10,521	5,381	5,140	—	803	9,718	48.9
21	10,128	5,124	5,004	—	716	9,412	49.4

3 高等専門学校（表12）

（1）学校数

学校数は、64校（国立55校、公立6校、私立3校）で前年度と同数である。

（2）学生数

学生数は、5万9千人（国立5万3千人、公立4千人、私立2千人）で前年度より1百人減少している。このうち女子学生（9千人）の占める比率は15.7%で、前年度より0.1ポイント増加している。

（3）入学者数

入学者数は、1万1千人（男子9千人、女子2千人）で前年度とほぼ同数となっている。

（4）教員数

教員数は、本務者が4千4百人（男子4千1百人、女子3百人）で、前年度とほぼ同数となっている。また、兼務者は2千1百人（男子1千7百人、女子4百人）となっている。

表12 学校数、学生数等の推移（高等専門学校）

区分	学校数（校）				学生数（人）				入学者数（人）				教員数 （本務者） （人）
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	
平成11	62	54	5	3	56,436	49,565	4,511	2,360	11,330	9,895	932	503	4,433
16	63	55	5	3	58,698	51,729	4,673	2,296	11,572	10,162	928	482	4,473
17	63	55	5	3	59,160	52,210	4,594	2,356	11,345	10,053	849	443	4,469
18	64	55	6	3	59,380	52,587	4,493	2,300	11,330	10,120	767	443	4,471
19	64	55	6	3	59,386	52,833	4,349	2,204	11,112	10,142	567	403	4,453
20	64	55	6	3	59,446	53,162	4,162	2,122	11,288	10,112	754	422	4,432
21	64	55	6	3	59,386	53,355	4,028	2,003	11,280	10,132	777	371	4,400

（注）「学生数」には、本科の学生のほか専攻科及び聴講生・研究生等の学生を含む。

4 大学・大学院・短期大学の通信教育（表13）

（1）学校数

通信による教育を実施している学校は大学52校、短期大学11校で、前年度より大学、短期大学それぞれ1校増加している。

（2）学生数

学生数は大学22万6千人（男子9万6千人、女子13万1千人）、大学院8千人（男子5千人、女子3千人）、短期大学2万1千人（男子6千人、女子1万6千人）で、前年度より大学は3千人、大学院は2百人、短期大学は1千5百人それぞれ減少となっている。

- ① 正規の課程の学生数は大学18万1千人（男子7万6千人、女子10万5千人）、大学院3千8百人（男子2千3百人、女子1千5百人）、短期大学1万9千人（男子5千人、女子1万4千人）で、前年度より大学は5千人、短期大学は1千7百人減少し、大学院はほぼ同数となっている。
- ② 正規の課程の学生の関係学科構成比をみると、大学では「社会科学」が26.5%で最も高く、次いで「教育」16.4%等の順となっている。また、大学院修士課程では「社会科学」が18.7%で最も高く、次いで「人文科学」18.5%の順、大学院博士課程では「人文科学」が17.3%で最も高く、次いで「教育」が14.3%の順となっている。短期大学では「教育」が60.8%で最も高く、次いで「社会」が26.7%の順となっている。

(3) 入学者数（正規の課程）

正規の課程の入学者数は大学1万4千人（男子6千人，女子8千人），大学院1千3百人（男子7百人，女子5百人），短期大学4千人（男子1千人，女子3千人）で，前年度より大学は2千8百人，短期大学は5百人それぞれ増加し，大学院は70人減少している。

表13 学校数，学生数，入学者数及び教員数（本務者）の推移
（大学・大学院・短期大学〔通信教育〕）

(1) 大学

区 分	学校数	学生数		入学者数	教員数 (本務者)
		人	うち正規 の課程 人		
平成11	18	216,687	172,356	14,915	124
16	33	241,615	196,648	14,200	379
17	35	246,029	200,393	14,090	350
18	36	245,167	198,483	13,896	370
19	40	240,076	193,573	12,978	458
20	41	229,734	185,719	11,452	493
21	42	226,384	180,636	14,251	644

(2) 大学院

区 分	学校数	学生数		入学者数	教員数 (本務者)
		人	うち正規 の課程 人		
平成11	4	368	368	368	7
16	18	9,767	3,024	1,255	50
17	19	9,634	3,330	1,228	63
18	19	9,483	3,521	1,235	68
19	23	8,820	3,628	1,288	72
20	25	8,649	3,793	1,344	88
21	26	8,437	3,796	1,276	111

(3) 短期大学

区 分	学校数	学生数		入学者数	教員数 (本務者)
		人	うち正規 の課程 人		
平成11	10	31,868	30,173	6,332	70
16	9	26,778	25,215	5,679	16
17	9	28,424	26,773	5,842	45
18	8	28,456	26,929	5,532	31
19	9	25,227	23,796	4,375	34
20	10	22,622	21,130	3,560	39
21	11	21,164	19,479	4,029	40

(注) 通信による教育を実施している大学52校のうち16校は，大学と大学院の両方で実施している学校である。
また，大学6校及び短期大学1校は通信による教育のみ実施する学校である。

[卒業後の状況調査]

1 大学（学部）卒業生

(1) 卒業生数

平成21年3月に大学（学部）を卒業した者（年度途中の卒業生を含む。以下同じ。）は、56万人（男子32万1千人、女子23万8千人）で前年度より4千人増加している。

これを設置者別にみると、国立10万3千人（前年とほぼ同数）、公立2万5千人（6百人増）、私立43万2千人（3千人減）となっている。

(2) 卒業生の進路（表14、図4）

卒業生を進路別にみると、「大学院等への進学者」（就職し、かつ進学した者を含む。以下同じ。）6万8千人（全卒業生数の12.2%）、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）38万2千人（同68.3%）、「臨床研修医」（予定者を含む。以下同じ。）9千人（同1.6%）、「専修学校・外国の学校等入学者」1万人（同1.8%）、「一時的な仕事に就いた者」1万3千人（同2.3%）、「左記以外の者」6万8千人（同12.1%）、「死亡・不詳の者」9千人（同1.6%）となっている。

ア. 進学状況

- ① 大学院等への進学者数は6万8千人（男子5万1千人、女子1万7千人）で、前年より1千人増加している。
- ② 進学率（卒業生のうち大学院等への進学者及び就職し、かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は12.2%（男子15.9%、女子7.3%）で、前年より0.1ポイント上昇している。

イ. 就職状況（表15、図5～図9）

- ① 就職者総数（「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は、38万2千人（男子20万7千人、女子17万5千人）で、前年より6千人減少している。
- ② 就職率（卒業生数のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。）は、68.4%（男子64.6%、女子73.4%）で、前年より1.5ポイント低下している。
- ③ 就職率を関係学科別にみると、「家政」が80.6%で最も高く、次いで「社会科学」76.2%、「教育」72.3%等の順となっている。

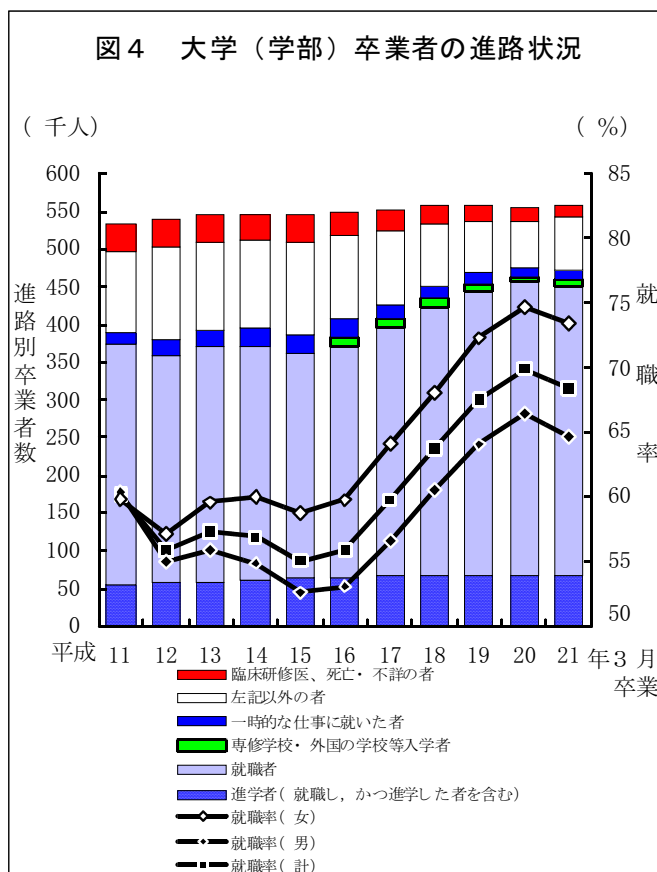


表 1 4 進路別卒業者の推移 (大学 [学部])

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	臨床研修医 (予定者を含む)	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者	(再掲) 左記「進学者」のうち就職している者 (d)	進学率 b/a × 100	就職率 (c+d)/a × 100		
											計	男	女
平成11年3月	532,436	54,023	320,072	6,450	…	16,023	105,976	29,892	47	10.1	60.1	60.3	59.8
16	548,897	64,610	306,338	8,049	12,412	24,754	110,035	22,699	76	11.8	55.8	53.1	59.7
17	551,016	66,108	329,045	7,903	12,061	19,507	97,994	18,398	80	12.0	59.7	56.6	64.1
18	558,184	67,298	355,778	9,293	12,039	16,659	82,009	15,108	42	12.1	63.7	60.5	68.1
19	559,090	67,175	377,734	9,105	9,990	13,287	69,296	12,503	42	12.0	67.6	64.0	72.3
20	555,690	67,372	388,417	8,851	8,971	11,485	59,791	10,803	63	12.1	69.9	66.4	74.6
21	559,539	68,422	382,434	9,051	9,843	12,991	67,894	8,904	51	12.2	68.4	64.6	73.4

(注) 1 「進学者」とは、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者である。
 2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかでない者である。

表 1 5 関係学科別就職率の推移 (大学 [学部])

区分	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健					商船	家政	教育	芸術	その他
							計	医学	歯学	薬学	その他					
平成11年3月	60.1	56.9	67.0	46.8	61.5	56.8	41.8	0.1	25.6	57.1	79.7	30.7	66.5	51.4	38.9	59.4
16	55.8	53.6	61.0	39.3	53.3	52.8	50.2	0.1	17.7	53.2	84.5	26.3	69.0	57.2	35.2	58.4
17	59.7	58.8	65.4	41.6	55.6	56.6	52.6	0.0	17.1	56.4	84.9	36.7	74.1	59.6	39.0	62.9
18	63.7	64.2	70.5	43.6	58.2	59.1	52.6	0.0	0.1	55.6	84.4	33.5	77.5	63.8	42.9	66.5
19	67.6	69.5	74.8	46.2	60.0	61.0	55.2	0.0	—	57.8	86.1	39.2	81.6	68.5	47.8	72.3
20	69.9	72.9	77.7	47.3	60.7	62.7	58.1	0.0	0.0	60.5	85.9	57.7	82.7	71.7	48.9	75.5
21	68.4	70.7	76.2	46.1	58.3	62.3	59.3	0.1	0.4	62.6	85.1	100.0	80.6	72.3	45.5	72.4

② 就職者総数を産業別にみると、「卸売業、小売業」が17.1%で最も高く、次いで「製造業」16.0%、「金融業、保険業」11.1%、「情報通信業」9.9%、「医療、福祉」9.1%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「製造業」20.2%、「卸売業、小売業」17.6%、「情報通信業」11.6%等の順となっており、女子は「卸売業、小売業」16.5%、「医療、福祉」14.7%、「金融業、保険業」14.1%等の順となっている。

図5 産業別就職者数の比率(学部)

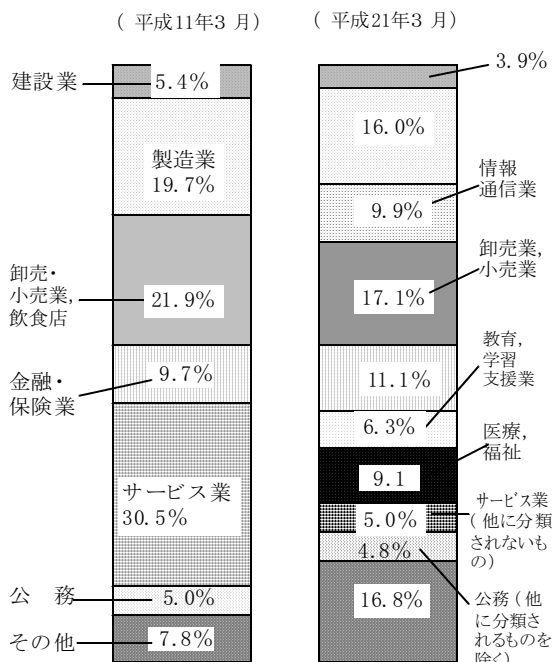
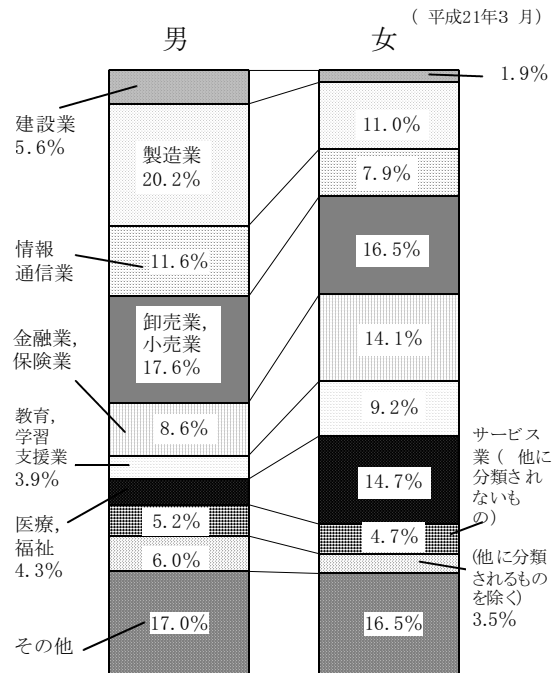


図6 男女別就職者数の比率(学部)



* 平成19年11月の日本標準産業分類の改訂に伴い、調査項目を変更している。(以下図14も同じ。)

⑤ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が34.4%（うち「技術者」16.9%、「教員」4.5%等）で最も高く、次いで、「事務従事者」33.0%、「販売従事者」21.9%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「専門的・技術的職業従事者」34.8%（うち「技術者」25.1%、「教員」2.7%等）、「事務従事者」28.1%、「販売従事者」24.9%等の順となっており、女子は「事務従事者」38.7%、「専門的・技術的職業従事者」33.9%（うち「保健医療従事者」12.4%、「技術者」7.2%、「教員」6.5%等）、「販売従事者」18.4%等の順となっている。

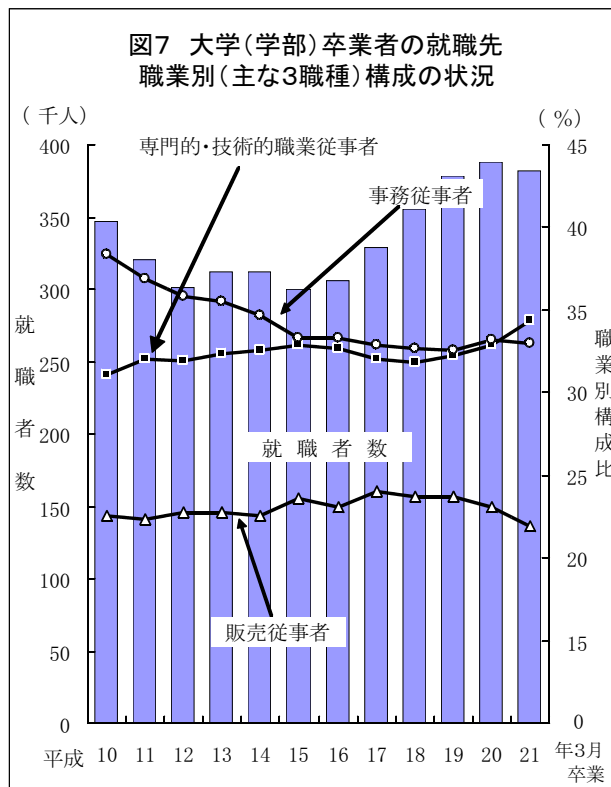


図8 職業別就職者数の比率(学部)

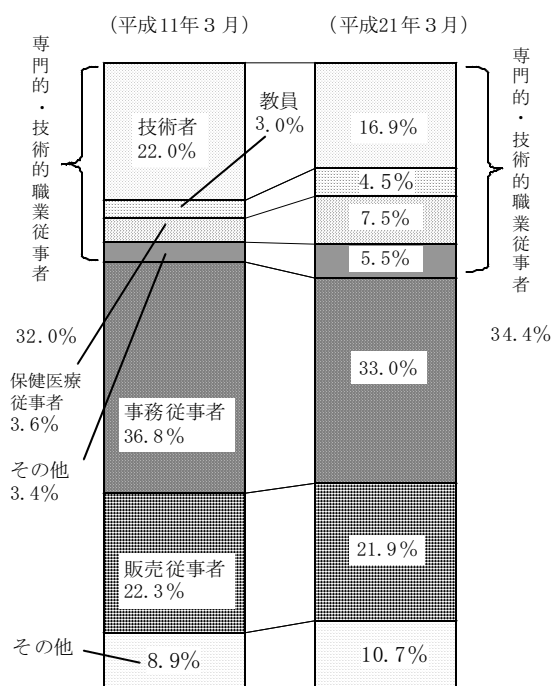
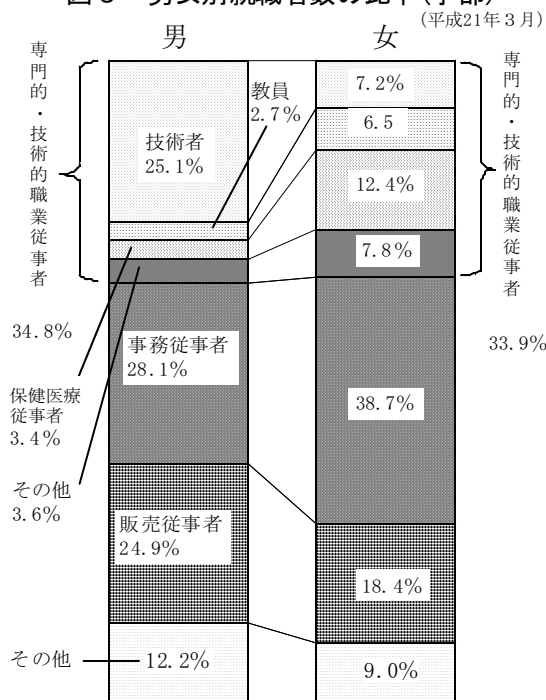


図9 男女別就職者数の比率(学部)



(3) 学部卒業者の修業年数別の卒業状況 (表16)

ア. 修業年限4年の学部卒業者について、修業年限別の卒業状況は次のとおりとなっている。

- ① 所定の修業年数4年で卒業した者（平成17年4月に入学し、平成21年3月に卒業した者）は47万6千人となっており、平成17年4月の入学者数59万2千人の80.5%（前年80.3%）にあたる。
- ② 修業年数5年で卒業した者（修業年限を1年超過—平成16年度入学—）は4万1千人で、平成16年4月の入学者数の7.0%（前年7.1%）にあたる。

③ 修業年数6年で卒業した者（修業年限を2年超過－平成15年度入学－）は9千人で、平成15年4月入学者数の1.5%（前年1.5%）にあたる。

④ 修業年数7年及び8年以上で卒業した者については、それぞれ0.4%、0.3%となっている。

イ. 平成13年4月入学者について、平成21年3月までの卒業者（所定修業年数卒業者＋1年超過卒業者＋2年超過卒業者＋3年超過卒業者＋4年以上超過卒業者）の占める比率は88.1%となっており、平成12年4月の入学者が平成20年までに卒業した比率88.5%より0.4ポイント低下している。

ウ. 最短の修業年限で卒業した者の比率（a）の推移をみると、平成17年4月入学者の（a）は80.5%で、前年より0.2ポイント上昇している。

表16 入学年度別卒業者の比率の状況(修業年限4年)(大学(学部))

(単位: %)

区分	入 学 年 度																										
	平成17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	元	昭和63	62	61	60						
卒業 年 (各 年 月)	平成元																				(a)	78.6					
	2																				(a)	(b)	79.3	8.8			
	3																				(a)	(b)	(c)	(d)	80.4	8.5	1.9
	4																		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	80.7	8.2	1.9	0.5
	5																	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	81.2	8.2	1.8	0.5	0.3
	6																(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	81.5	8.2	1.8	0.5	0.3	
	7															(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	82.2	8.4	1.9	0.5	0.3		
	8													(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	82.3	8.2	1.8	0.5	0.3				
	9												(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	82.1	7.8	1.8	0.5	0.3					
	10											(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	81.9	7.6	1.7	0.4	0.2						
	11										(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	80.9	7.6	1.6	0.4	0.2							
	12									(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	80.1	7.9	1.6	0.4	0.2								
	13								(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	79.0	8.5	1.8	0.5	0.3									
	14							(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	79.0	8.1	1.7	0.4	0.2										
	15						(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	78.7	8.0	1.8	0.5	0.3											
	16					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	78.2	8.0	1.8	0.6	0.3												
	17				(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	78.0	7.9	1.7	0.5	0.3													
	18			(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	78.7	7.7	1.7	0.5	0.3														
	19		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	79.7	7.3	1.6	0.5	0.3															
	20	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	80.3	7.1	1.5	0.5	0.3																
	21	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	80.5	7.0	1.5	0.4	0.3																
計	80.5	87.4	88.3	88.0	88.1	88.5	89.1	89.6	89.7	91.1	91.5	91.8	92.0	92.4	92.8	92.4	92.1	91.5	91.2	90.5	90.1						

(注) (a) : 各年度の入学者のうち最低修業年限の4年で卒業した者の比率
 (b) : " 5年(1年超過) "
 (c) : " 6年(2年超過) "
 (d) : " 7年(3年超過) "
 (e) : " 8年以上(4年以上超過) "

2 大学院修了者

(1) 修了者数

平成21年3月に大学院の修士課程を修了した者は、7万4千人（男子5万2千人、女子2万2千人）で前年とほぼ同数となっている。博士課程を修了した者（所定の単位を修得し、学位を取得せずに満期退学した者を含む。以下同じ。）は1万6千人（男子1万2千人、女子4千人）で前年より2百人増加している。また、専門職学位課程を修了した者は、8千3百人（男子6千人、女子2千3百人）で、前年より3百人増加している。

これを設置者別にみると、修士課程では国立4万3千人（修了者の58.0%）、公立4千人（同5.6%）、私立2万7千人（同36.4%）となっており、博士課程では国立1万2千人（修了者の71.3%）、公立8百人（同4.9%）、私立4千人（同23.8%）となっている。また、専門職学位課程では、国立3千人（修了者の31.9%）、公立2百人（同2.7%）私立5千人（同65.4%）となっている。

(2) 修了者の進路（図10～図12）

ア. 修士課程

修了者の進路別内訳は、「大学院等への進学者」8千人（修了者の10.8%）、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）5万5千人（同74.5%）、「左記以外の者」7千人（同10.0%）、「死亡・不詳の者」2千人（同2.8%）となっている。

- ① 進学率は10.8%（男子10.4%、女子11.6%）で、前年より0.1ポイント上昇している。
- ② 就職率 {修了者のうち就職者総数（「大学院等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。）の占める比率} は74.8%（男子79.4%、女子63.9%）で、前年より0.3ポイント低下している。
- ③ 就職者総数を産業別にみると、「製造業」が46.7%と最も高く、次いで「教育、学習支援業」1.4%、「情報通信業」9.2%、「学術研究機関、専門・技術サービス業」5.5%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が78.9%（うち「技術者」56.0%、「教員」7.4%、「科学研究者」5.8%等）で最も高く、次いで「事務従事者」12.5%、「販売従事者」2.4%等の順となっている。

イ. 博士課程

修了者の進路別内訳は、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）1万1千人（修了者の64.0%）、「左記以外の者」3千人（同20.6%）、「死亡・不詳の者」2千人（同9.1%）等となっている。

- ① 就職率 {修了者のうち就職者総数（「大学院等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。）の占める比率} は64.3%（男子67.8%、女子54.7%）で、前年より1.1ポイント上昇している。
- ② 就職者総数を産業別にみると、「教育、学習支援業」が34.6%で最も高く、次いで「医療、福祉」23.8%、「製造業」17.1%等の順となっている。
- ③ 就職者総数を職業別にみると、「教員」25.0%、「科学研究者」24.7%、「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」21.9%、「技術者」17.0%等「専門的・技術的職業従事者」が92.8%を占めている。

ウ. 専門職学位課程

修了者の進路別内訳は、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。以下同じ。）2千5百人（修了者の30.3%）、「左記以外の者」4千9百人（同58.9%）、「死亡・不詳の者」6百人（同7.4%）等となっている。

- ① 就職率 {修了者のうち就職者総数（「大学院等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。）の占める比率} は30.5%（男子32.1%、女子26.5%）で、前年とほぼ同数となっている。
- ② 就職者総数を産業別にみると、「製造業」が19.0%と最も高く、次いで「学術研究機関、専門・技術サービス業」11.4%、「公務」10.6%等の順となっている。
- ② 就職者総数を職業別にみると、「事務従事者」が40.6%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業従事者」28.4%（うち「技術者」11.6%、「教員」4.5%等）、「管理的職業従事者」12.8%等の順となっている。

図10 大学院（修士課程）修了者の進路状況

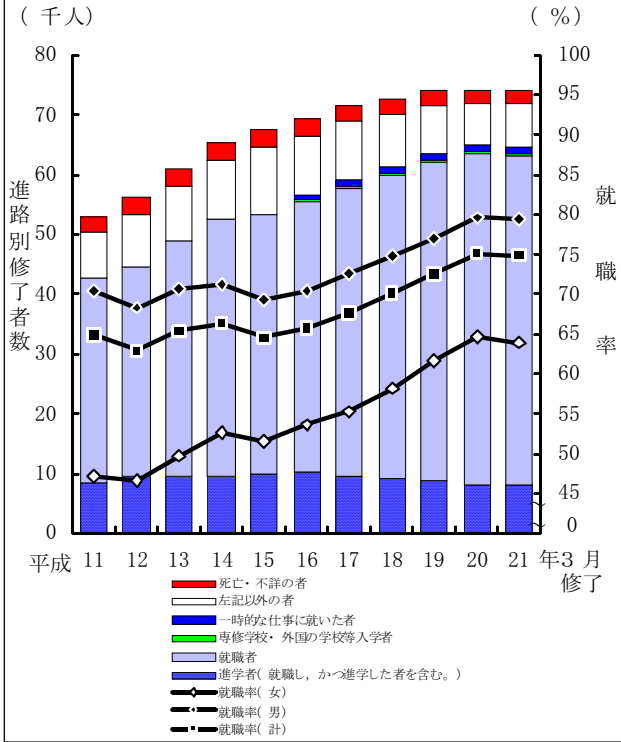


図11 大学院（博士課程）修了者の進路状況

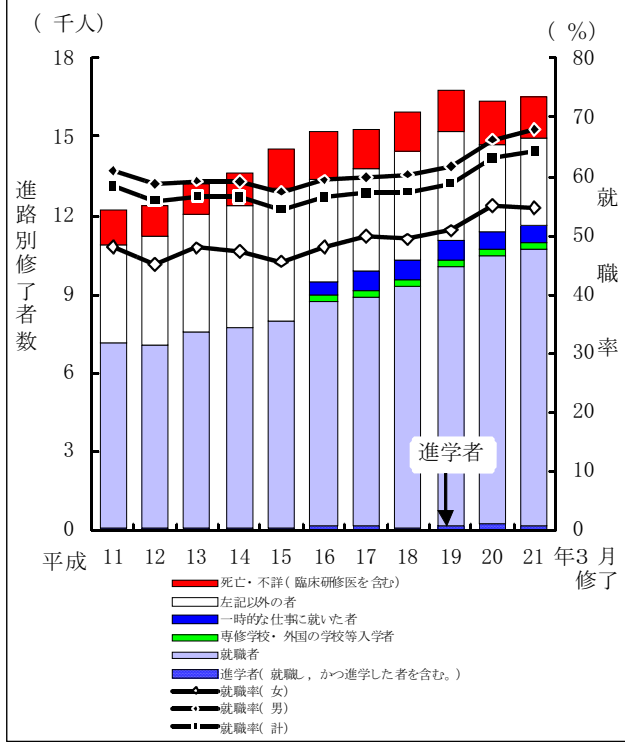
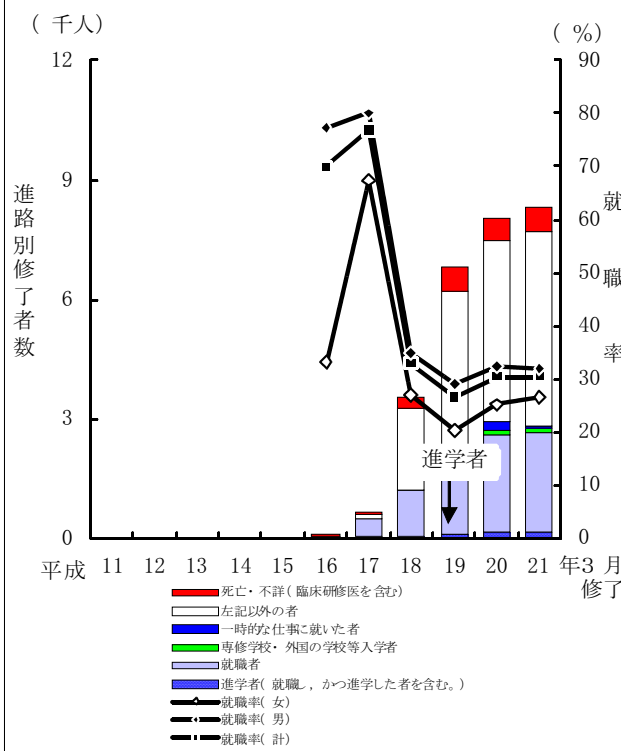


図12 大学院（専門職学位課程）修了者の進路状況



3 短期大学卒業生

(1) 卒業生数

平成21年3月に短期大学(本科)を卒業した者は7万8千人(男子8千人, 女子7万人)で, 前年より6千人減少している。

これを設置者別にみると, 国立4人(前年より90人減), 公立4千5百人(前年より1百人減), 私立7万4千人(前年より5千6百人減)となっている。

(2) 卒業生の進路(表17, 図13)

卒業生の進路別内訳は, 「大学等への進学者」9千人(全卒業生の11.5%), 「就職者」(就職し, かつ進学した者を除く。)5万5千人(同69.9%), 「専修学校・外国の学校等入学者」1千5百人(同2.0%), 「一時的な仕事に就いた者」3千4百人(同4.4%), 「左記以外の者」9千人(同11.6%), 「死亡・不詳の者」4百人(同0.5%)となっている。

ア. 進学状況

① 大学等への進学者数は9千人(男子2千人, 女子7千人)で, 前年より5百人減少している。

② 進学率(卒業生のうち大学等への進学者の占める比率。以下同じ。)は11.5%(男子25.5%, 女子9.9%)で, 前年より0.1ポイント上昇している。

イ. 就職状況(表18, 図14~図16)

① 就職者総数(「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。)は5万5千人(男子4千人, 女子5万人)で, 前年より6千人減少している。

② 就職率(卒業生のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。)は69.9%(男子53.1%, 女子71.9%)で, 前年より2.1ポイント低下している。

③ 就職率を関係学科別にみると, 「教育」が81.8%で最も高く, 次いで「保健」80.8%, 「社会」72.0%等の順となっている。

④ 就職者総数を産業別にみると, 「医療, 福祉」が40.8%で最も高く, 次いで「卸売業, 小売業」13.8%, 「教育, 学習支援業」13.0%, 「製造業」7.3%等の順となっている。

⑤ 就職者総数を職業別にみると, 「専門的・技術的職業従事者」56.7%(うち「保健医療従事者」15.2%, 「教員」11.2%等)で最も高く, 次いで「事務従事者」22.0%, 「販売従事者」10.6%等の順となっている。

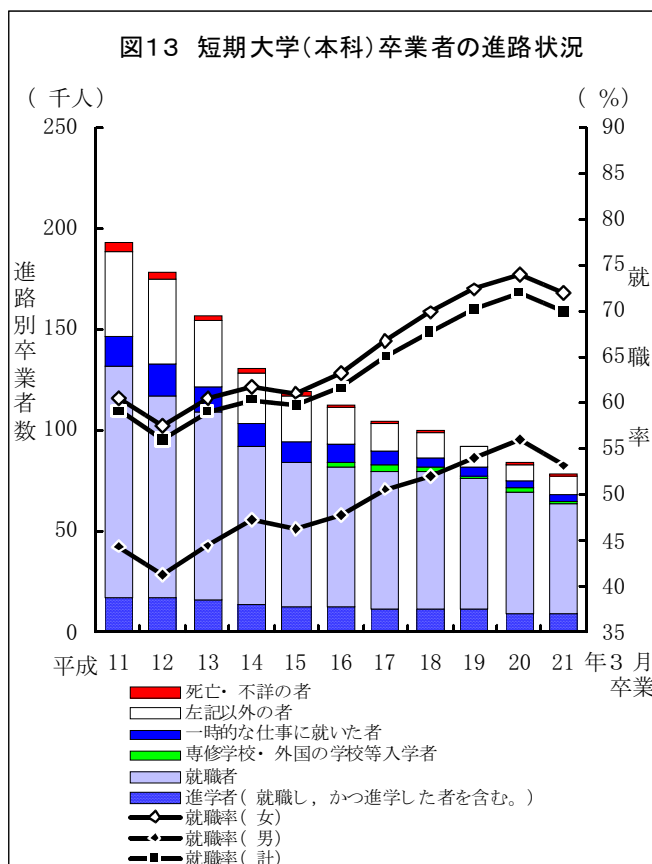


表17 進路別卒業生の推移(短期大学[本科])

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者	(再掲)左記「進学者」のうち就職している者(d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
										計	男	女
平成11年3月	193,190	17,087	114,174	…	15,371	42,098	4,460	20	8.8	59.1	44.4	60.5
16	112,006	12,502	69,022	2,886	8,521	17,709	1,366	7	11.2	61.6	47.7	63.2
17	104,621	12,043	68,023	2,990	6,655	13,829	1,081	12	11.5	65.0	50.6	66.8
18	99,611	11,678	67,476	2,579	5,177	11,899	802	4	11.7	67.7	52.1	69.8
19	92,100	11,026	64,623	2,120	4,285	9,452	594	—	12.0	70.2	54.0	72.3
20	83,900	9,525	60,413	1,853	3,215	8,400	494	1	11.4	72.0	55.9	74.0
21	78,056	9,005	54,585	1,553	3,450	9,037	426	2	11.5	69.9	53.1	71.9

(注) 1 「進学者」とは, 大学学部, 短期大学本科, 大学・短期大学の専攻科, 別科へ入学した者である。

2 「左記以外の者」とは, 家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかなる者である。

表 1 8 関係学科別就職率の推移（短期大学〔本科〕）

(%)

区分	計	人 文 社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他	
平成11年3月	59.1	51.3	61.7	57.1	58.9	47.3	75.1	58.8	73.1	31.0	64.3
16	61.6	47.3	61.2	50.8	53.3	46.4	74.8	59.2	76.9	30.1	62.6
17	65.0	51.2	65.4	59.2	58.4	43.1	75.3	64.1	78.2	32.8	55.8
18	67.7	54.7	69.2	62.5	62.3	46.6	74.9	68.6	78.3	34.4	58.9
19	70.2	56.1	72.1	76.5	61.9	44.7	78.7	70.6	80.1	34.9	66.8
20	72.0	57.9	73.7	75.8	64.5	45.1	78.1	73.2	81.6	36.7	69.6
21	69.9	53.7	72.0	71.5	62.1	35.8	80.8	69.5	81.8	35.3	65.9

図 14 産業別就職者数の比率(本科)

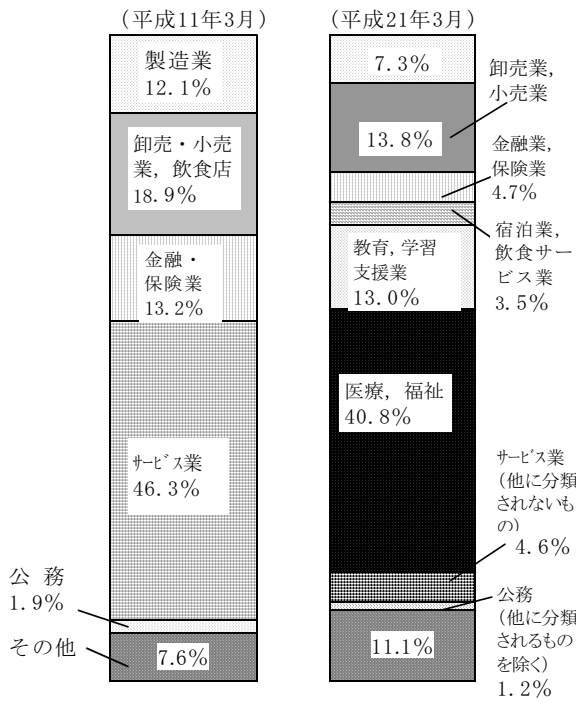


図 1 5 職業別就職者数の比率 (本科)

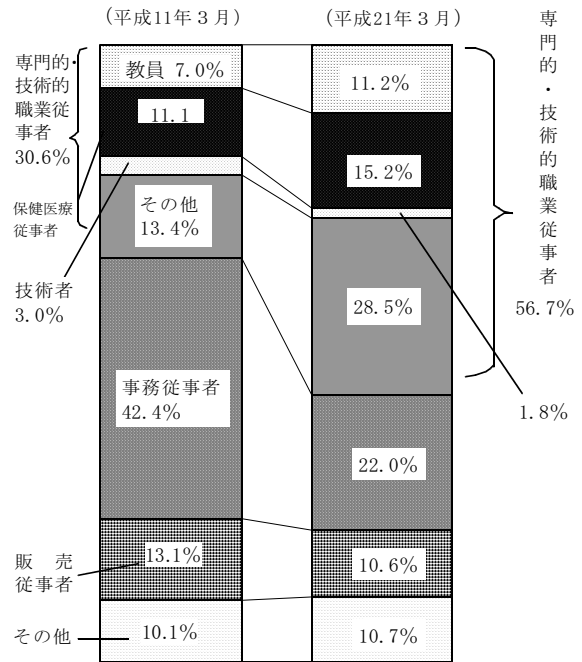
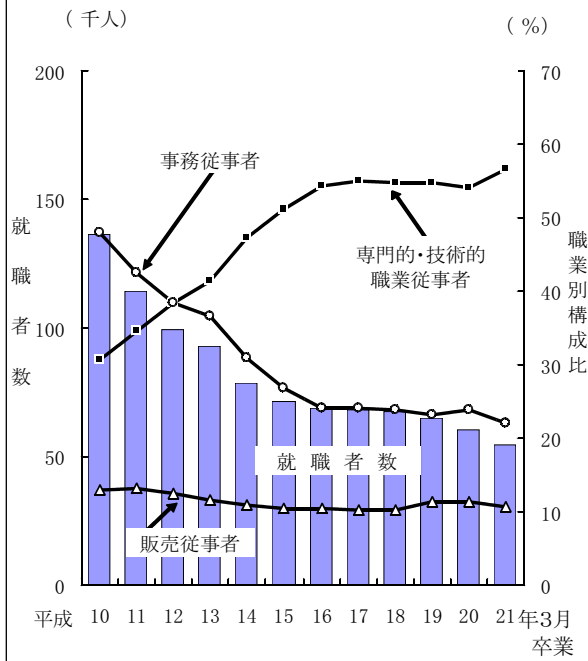


図 1 6 短期大学(本科)卒業者の就職先職業別(主な3職種)構成の状況



4 高等専門学校卒業生

(1) 卒業生数

平成21年3月に高等専門学校を卒業した者は1万人（男子8千8百人，女子1千7百人）で，前年より3百人増加している。

これを設置者別にみると，国立9千2百人，公立8百人，私立4百人となっている。

(2) 卒業生の進路（表19，図17）

卒業生の進路別内訳は「大学等への進学者」4千5百人（全卒業生数の43.0%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）5千6百人（同53.6%），「左記以外の者」2百人（同1.9%）等となっている。

ア. 進学状況

- ① 大学等への進学者数は4千5百人（男子4千人，女子5百人）で，前年より2百人増加している。
- ② 進学率は，43.0%（男子45.3%，女子31.3%）で，前年より0.5ポイント上昇している。

イ. 就職状況

- ① 就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は5千6百人（男子4千5百人，女子1千1百人）で，前年より1百人増加している。
- ② 就職率は53.6%（男子51.6%，女子63.6%）で，前年より0.6ポイント低下している。
- ③ 就職者総数を産業別にみると，「製造業」が57.2%と最も高く，次いで「情報通信業」10.5%，「建設業」7.1%，「電気・ガス・熱供給・水道業」7.0%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」92.2%（うち「技術者」91.6%等）が最も高く，次いで「運輸・通信従事者」3.1%，「サービス職業従事者」1.7%等の順となっている。

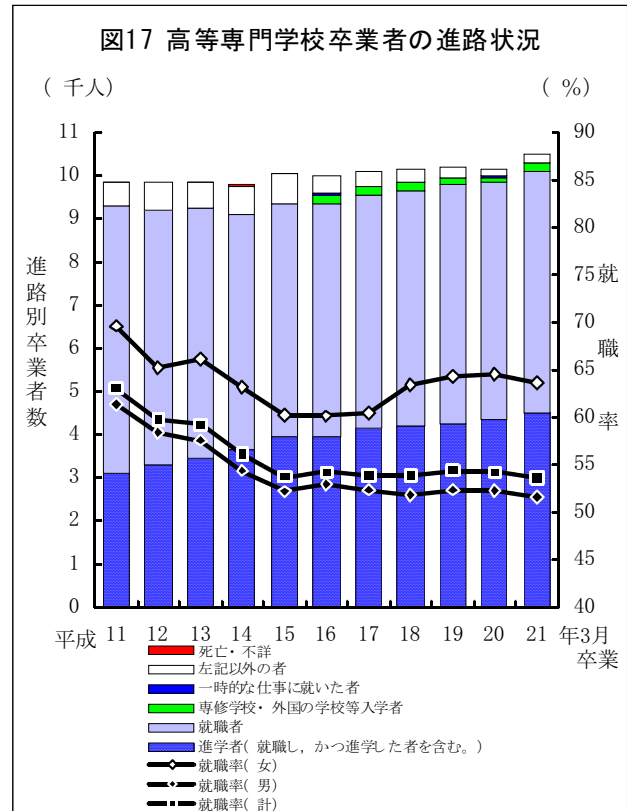


表19 進路別卒業生の推移（高等専門学校）

区分	計 (a)	大学等への進学者 (b)	就職者 (c)	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者	(再掲) 左記「進学者」のうち就職している者 (d)	進学率 (b/a) ×100	就職率 (c+d)/a ×100
平成11年3月	9,836	3,085	6,194	…	…	537	20	1	31.4	63.0
16	10,011	3,929	5,422	199	16	445	—	—	39.2	54.2
17	10,061	4,113	5,413	192	6	337	—	2	40.9	53.8
18	10,140	4,201	5,455	174	2	308	—	2	41.4	53.8
19	10,207	4,252	5,546	159	5	244	1	—	41.7	54.3
20	10,160	4,316	5,501	146	2	195	—	1	42.5	54.2
21	10,474	4,504	5,610	155	9	195	1	—	43.0	53.6

(注) 1 「大学等への進学者」とは，大学学部，短期大学本科，大学・短期大学の専攻科，別科へ進学した者である。
 2 「左記以外の者」とは，家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかな者である。

[学校施設調査]

(1) 学校土地面積 (表20)

学校土地面積は、大学15億1,795万㎡、短期大学1,067万㎡、高等専門学校632万㎡で、前年度に比べ、大学ではいずれも増加し、短期大学ではいずれも減少し、高等専門学校ではほぼ横這いとなっている。

表20 学校土地面積

(千㎡)

区 分	大 学					短 期 大 学				高 等 専 門 学 校			
	計	国 立	公 立	私 立	放送大学 学園立	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立
平成11年度	1,497,458	1,330,453	13,173	153,784	48	22,389	370	4,836	17,182	6,301	5,698	435	168
16	1,507,162	1,330,111	14,501	162,550	(62)	17,724	218	3,985	13,521	6,502	5,854	440	209
17	1,506,002	1,326,655	15,243	164,104	(63)	16,777	195	3,573	13,009	6,472	5,855	440	178
18	1,510,983	1,330,164	15,576	165,243	(65)	14,480	19	3,015	11,445	6,199	5,749	272	178
19	1,515,215	1,331,827	17,609	165,779	(65)	11,946	—	869	11,077	6,315	5,865	272	178
20	1,515,564	1,332,023	17,738	165,803	(65)	10,950	—	795	10,154	6,320	5,865	272	183
21	1,517,947	1,332,030	18,701	167,217	(87)	10,671	—	704	9,966	6,321	5,866	272	183

(注) 放送大学学園の()内の数値は私立の再掲である。

表21)

学校建物面積は、公立大学467万㎡、私立大学4,015万㎡、公立短期大学27万㎡、私立短期大学338万㎡、公立高等専門学校12万㎡、私立高等専門学校6万㎡で、前年度に比べ、大学ではいずれも増加し、短期大学ではいずれも減少し、高等専門学校では横這いとなっている。

表21 学校建物面積

(千㎡)

区 分	大 学			短 期 大 学		高 等 専 門 学 校	
	公 立	私 立	放送大学 学園立	公 立	私 立	公 立	私 立
平成11年度	3,611	28,697	61	715	5,513	134	54
16	4,167	34,816	(86)	500	4,447	136	55
17	4,412	35,884	(87)	438	4,190	139	56
18	4,562	36,942	(88)	402	3,739	122	55
19	4,497	38,197	(89)	371	3,644	122	56
20	4,553	39,036	(89)	323	3,440	122	56
21	4,667	40,154	(110)	270	3,378	122	56

(注) 放送大学学園の()内の数値は私立の再掲である。

[学校経費調査]

(1) 国・公立大学等の経費 (表22)

国立は2兆6,827億円、公立は5,065億円で、前年度に比べ、国立短期大学、公立短期大学及び国立附置研究所は減少し、他は増加している。

表22 国・公立大学の経費

区 分	国 立					公 立					放送大学 学 園 立
	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	大 学
平成10 会計年度	2,234,789	1,401,857	16,039	711,222	105,672	640,643	337,504	51,819	246,648	4,672	15,987
15	2,343,875	1,538,052	7,569	695,053	103,201	523,539	260,066	30,605	228,770	4,098	...
16	2,203,048	1,327,964	5,134	765,715	104,236	499,758	268,265	26,611	200,196	4,686	...
17	2,681,732	1,705,821	4,349	860,497	111,065	485,362	264,372	22,786	194,740	3,465	...
18	2,431,349	1,439,894	1,754	876,078	113,624	486,920	270,644	16,810	196,217	3,249	...
19	2,599,675	1,545,909	290	934,208	119,267	487,141	275,226	15,655	192,261	3,999	...
20	2,682,728	1,592,768	39	972,236	117,685	506,472	287,096	14,914	199,871	4,592	...

(2) 国立の高等専門

学校等の経費 (表23)

前年度に比べ、幼稚園、中学校、高等学校及び専修学校は減少し、他の学校種はいずれも増加している。

表23 国立の高等専門学校等の経費

区 分	(単位 百万円)									
	高 等 専 門 学 校	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	中 等 教 育 学 校	特 別 支 援 学 校	専 修 学 校	各 種 学 校	
平成10 会計年度	83,375	3,284	19,751	17,497	7,384	...	15,016	438	39	
15	95,782	3,246	21,539	19,495	6,016	990	16,468	295	...	
16	79,633	3,500	19,456	17,397	6,259	933	14,810	288	...	
17	87,522	3,651	21,347	17,969	7,024	1,177	15,394	244	...	
18	83,835	3,490	21,811	19,814	7,658	928	15,590	106	...	
19	85,662	3,640	22,918	21,573	7,313	1,740	15,387	168	...	
20	89,371	3,592	23,278	18,865	7,177	1,807	15,475	126	...	

(注) 「特別支援学校」の平成18会計年度以前は、「盲・聾・養護学校」の経費を計上している。

(3) 国・公立大学の授業料等及び補助金収入 (表24)

授業料等収入は、国立1兆4,689億円、公立3,024億円で、前年度に比べ、国立及び公立はいずれも増加している。

表24 国・公立大学の授業料等及び補助金収入

(単位 百万円)

区分	授業料等収入											補助金収入			
	国立					公立					放送大学 学園立	公立			放送大学 学園立
	計	大学	短期 大学	附属 病院	附置 研究所	計	大学	短期 大学	附属 病院	附置 研究所		大学	計	大学	
平成10 会計年度	918,465	384,696	3,877	517,760	12,133	220,704	63,647	10,497	146,525	34	3,751	2,589	2,072	517	15,454
15	1,115,683	483,611	1,765	608,968	21,339	284,754	87,323	8,508	188,593	330	...	1,681	1,643	38	...
16	1,165,629	512,182	1,349	628,865	23,233	260,227	88,403	8,022	163,409	394	...	2,637	2,598	39	...
17	1,358,677	631,467	1,188	697,602	28,419	265,190	92,793	6,746	165,435	216	...	33,407	33,387	20	...
18	1,333,209	586,096	743	716,257	30,114	273,927	98,320	5,851	169,560	196	...	80,020	79,458	562	...
19	1,396,678	596,951	102	766,064	33,560	286,137	104,534	5,450	175,898	254	...	96,047	92,679	3,368	...
20	1,468,945	622,910	15	813,257	32,763	302,397	113,250	5,404	183,315	429	...	99,073	95,181	3,892	...

(4) 国・公立の高等専門学校等の授業料等収入 (表25)

授業料等収入は前年度に比べ、高等専門学校、小学校、高等学校及び特別支援学校は増加し、他の学校種はいずれも減少している。

表25 国・公立の高等専門学校等の授業料等収入

(単位 百万円)

区分	授業料等収入									補助金収入	
	高等 専門学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等 教育学校	特別支援 学校	専修学校	各種学校	公立 高等専門学校	公立 高等専門学校
平成10 会計年度	11,529	612	102	177	1,279	...	20	66	5
15	14,276	552	139	176	1,030	87	1,301	53
16	13,369	595	120	151	1,147	99	26	44
17	15,130	585	142	158	1,159	99	23	37
18	15,125	573	124	166	1,140	99	27	20
19	15,794	568	105	142	1,177	109	18	28
20	18,285	561	125	138	1,326	101	32	28	2,529

(注) 「特別支援学校」の平成18会計年度以前は、「盲・聾・養護学校」の授業料等収入を計上している。